

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 千葉県野田市
 本事業の担当部局名 企画財政部企画調整課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	重点メニュー						
関連事業メニュー	1_2_3 結婚支援事業者との官民連携型結婚支援						
個別事業名	野田市結婚支援事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	新規	
実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日	事業開始年度	令和7年度	
総事業費(A)(円) ※補助率を乗じる前の額	220,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	220,000	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	220,000						
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	220,000	0	0	0	0	220,000
	対象経費支出予定額	220,000	0	0	0	0	220,000
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
---	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中の本個別事業の位置付け	<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 本市では、令和5年の婚姻率が2.8、合計特殊出生率が1.10と、日本全体(令和5年の婚姻率3.9、合計特殊出生率1.20)や、千葉県内(令和5年の婚姻率3.8、合計特殊出生率1.14)と比べても低い水準であり、課題となっている。 また、本市では、野田市総合戦略に基づき少子化対策に取り組んでおり、結婚支援として平成29年度から婚活イベント、結婚新生活支援事業を実施し、出会いの場の創出や、収入の安定しない若年層に経済的支援を行うなど、総合的な支援を行っている。						
番号	項目	内容					
個別事業の内容	1 広報・周知	公共施設でのチラシ配架、駅でのポスター掲示や市の公民館、コミュニティバス、市内の商工会議所、結婚支援事業者又はマッチングアプリ事業者のサイト等で掲示し、周知する。					
	2 マッチングアプリの適切な利用に関するセミナー	対面による婚活イベント以外にもインターネットを通じた新たな出会いの場による結婚支援を推進するため、年々認知度が高まっているマッチングアプリ・サービスの安全な活用方法に特化したセミナーを行う。 婚活イベントに参加することは敷居が高く、多数の民間事業者が運営しているマッチングアプリ・サービスの利用にも不安を感じている方に向け、情報発信元として信頼感のある自治体が第三者認証機関の認証を取得して結婚及び結婚に向けた交際相手探しに関するサービスを提供している専門性のある事業者と連携することで、事業者のマッチングアプリに対して保有する豊富な情報を活かし、セミナーを実施することが可能となり、市内在住又は在勤の若い世代の方のオンラインによる婚活や男女の出会いの機運醸成を図るもの。 また、市で実施している対面での野田市婚活イベントの機会を活かし、セミナー開催時にもイベントの周知を図ることで、結婚を希望する若い世代に対して幅広い出会いの場を提供する。					
	<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>						

	KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	合計特殊出生率	%	1.8（令和17年）	1.1（令和5年）
	合計特殊出生率	%	1.9（令和22年）	1.1（令和5年）
参考指標 ※全事業共通	項目	単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率		1.1	
	婚姻件数	件	422	
	婚姻率		2.8	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目		
		(アウトプット)		
	①	セミナー参加者数	人	30（R7年度）
	②	セミナー参加者数募集定員数に対する参加者数の割合	%	100（R7年度）
		(アウトカム)		
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	-
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	60（R7年度）
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-
	④	セミナー受講後、マッチングアプリの活用に前向きになったと感じた人の割合	%	100（R7年度）